

# 編集委員が選んだ本

## 『若者が社会的弱者に転落する』

宮本みち子著、洋泉社新書、2002年11月、720円

若者が、これで将来を荷負って行けるか、不安を感じる毎日である。残念ながらこの不安は現実になるらしい。主に千葉県の若者や親の世代を対象にした社会学的な調査から、千葉大教授の著者は「親世代の収入に頼り、責任を持って生活しようとする若者がこのままの状態を続ければ、20～30年後には低所得の中高年が社会の多くを占める事態になる」と警告する。しかし、事実であれば、それを正面から見つめ解決策を考えるしかない。

## 『水をめぐる危険な話 世界の水危機と水戦略』

ジェフリー・ロスフェダー著、古草秀子訳、河出書房新社、2002年12月、1800円

水は「基本的人権」なのか、石油と同じ「商品」か。水をめぐるさまざまな事件から、世界の水危機の実態をルポしている。水危機の基本要素はほとんど網羅しているが、他にもさまざまな異論があるので入門書として読むと好い。他に水の循環を理解するのに役立つ、E.C.ピルー著『水の自然誌』（河出書房新社）もある。

## 『女たちの京都 史跡をたずねて』

京都歴史教育者協議会編、かもがわ出版、2003年5月、2000円

歴史に欠かせない「民衆こそが歴史を支え社会発展の原動力」との視点からまとめた京都案内の書。京都市内だけでなく「京都府下一円の史跡」をとりあげ、「京都に関わりのある女性たちの史跡」に焦点をあてているのが特徴。時代別・テーマ別の構成で通史学習にも役立つ。

## 『籤引き将軍足利義教』

今谷明著、講談社選書メチエ、2003年4月、1500円

中世において、籤は神の意向を聞くことであり、その結果は神意として絶対視された。籤引きによる後継者決定から、「王権神授」の意識を持った義教による恐怖政治に至るまでを詳細に描く一方、その背景にあった、中世の人々が持つ独特の神仏観を解き明かしている。

## 『日朝関係の克服—なぜ国交正常化交渉が必要なのか—』

姜尚中著、集英社新書、2003年5月、680円

北朝鮮が「第2のイラク」になった時に、北東アジア地域はどうなってしまうのか？北朝鮮に対するネガティブキャンペーンが繰り返されている状況の中で、日朝正常化交渉の必要性を、1945年以降の歴史の中に位置づけながら論じている。

## 『超入門 日本国債』

千代田圭之著、平凡社新書、2003年6月、720円

教科書の内容を生徒に理解させようとする時、「言葉の定義は一応教えられるが、実態が伝わらない」という思いにとらわれることは、よくある。“国債”などその典型ではないか。かゆいところに手がとどいている本。

## 『考える力を伸ばす 世界史の授業』

鳥山孟郎著、青木書店、2003年6月、2500円

授業の困難と世界（史）学習のあり方についてまとめた。学びの喜びである「考えを深め自分の成長に気づく」「教師の教え込みでなく自分の力でわかる」をどう歴史・社会科学学習で実践するか、世界史を中心に実践例で提示。今こそ求められる「社会科学力」定着のヒントを満載。

▼役立つ情報発信中▼

<http://www.jikkyo.co.jp/>

**CLICK!** 教科から選ぶ→地歴・公民→授業支援ツール  
↓  
じっしょう資料 で

プリント作成に便利「日本史用語 語変換辞書」、HP検索が簡単「現代社会お役立ちURL」、じっしょう資料のバックナンバーがダウンロードできます。

▲教科書・教材のご紹介もしています▲

定価 210円（本体200円） 編修・発行 実教出版株式会社 代表者 本郷 充

2003年10月1日 印刷 発行所 〒102-8377 東京都千代田区五番町5

2003年10月6日 発行 Tel.03-3238-7777 <http://www.jikkyo.co.jp/>